

テーマ

秋篠川共同体

目標

地域を横断する秋篠川周辺を住民のよりどころとする

今年度の取組紹介

今年で4回目を迎えた“ホタルフェスタ 2015”。あいにくの雨にも関わらず1000人近い参加者で、地域の皆さんに浸透してきたことがうかがえました。特に今年は子どもたちにも参画してもらおうと、地域の方々に加えて中学生や小学生にもボランティアを募り、自分たちにできることを考えてもらいました。その結果、司会や売り子を小学生と中学生がペアを組んで協力してくれました。参加した地域の方々からは、しっかりした進行役に熱い拍手が送られました。また、大きな声の呼び込みに子どもたちの凄さを感じとっていました。

毎回オープニングで演奏してくれる吹奏楽部の生徒さん達は、演奏の他にも楽器紹介を小さい子どもたちにも分かるよう自分たちで工夫を凝らして盛り上げてくれました。地域の方も出店・出演に多くの力を貸していただけるようになりました。



今年度のまとめ

どの事業も、地域の大人だけの活動の場にならないように心がけました。子どもたちが積極的に参画できる事業に工夫したことにより、子どもたちがお客さんから主催者側になりました。それは、子どもたちの「お手伝いしますよ」「こうしたらどうですか？」の自発的な声からもうかがえました。

また、生涯テニスや英検・漢検の受検のようすを見ていると小学生と中学生が仲良く一つのことに取り組んでいる姿がありました。時として中学生が小学生を優しくリードしている場面を見かけることもあり、ほほえましく感じました。

来年度に向けて

子どもたちが地域と共に地域の中で生きていることは、少しずつではあるが子どもたちにとって自信にもつながってきていると思われます。しかし学力の点においては、サマースクールのように見ていると基礎学力の段階でつまづいているようにも思われます。少しでも地域として協力できることはと、中学校の職員会議に出席して補習実施への提案をし、協議会を開催しました。これまでの事業は続行しながら新たな取組として計画を進めています。

テーマ

繋がりがい、学び合う集団を目指して

目標

計画的な研修と実践を積み重ね、よりよい集団を育成する。また、地域の組織力を活用して多くの体験的な活動を実施し、地域の一員としての意識の高揚とコミュニケーション能力を高める。

今年度の取組紹介

・授業において「繋がりがい、学び合う集団」を育成するため、計画的に校内授業研究会を実施し改善に努めました。また、広く地域や保護者にも公開し、理解と協力を得ました。

・未来を担い自立できる生徒の育成を目指し、生徒自ら考え取り組む事業を行いました。具体的な内容として、生徒会の年間スローガンの垂れ幕製作、リーダー育成のため生徒会が中心になって行うリーダー研修会、クリーン作戦や苗植えなどを実施しました。特に、プロジェクト「ひまわり」では、生徒会・保護者・地域が一体となって、阪神淡路大地震の中から育った「はるかのひまわり」を育て、採取した種を、校区だけに止まらず、広く地域に配布しました。1学期に全盲のシンガーソングライターの堀内佳さんをお招きして行った人権コンサートとともに「人の尊厳」「人との関わり大切さ」を考えるよい機会になりました。

・地域教育協議会主催のホタルフェスタに積極的に参画し、校区の小学校や幼稚園の児童生徒及び地域の方々との交流を深めました。また、キャリア教育の一つとしての職場体験学習の事業所開拓や事業所の休業日における環境整備事業（花壇の整備）に協力を得て取り組みました。

・日常的な学校生活における支援の充実として、職員会議中の部活動見回り隊や図書館ボランティアによる昼食時の図書館開放や整理等にも取り組んでいただきました。



イングリッシュカフェ(英会話教室)奈良公園にて外国の方にインビュー

今年度のまとめ

・今年度もコーディネーターや多くのボランティアの方々の支援を受け、一つひとつの取組が計画的に進められました。また、一層の工夫と改善を加えていただきより充実したものになりました。地域の多くの方々と交流することで、生徒たちにコミュニケーション能力が付きあいさつはもちろんのこと、さまざまな場面でどう対応するべきかの判断力と行動力がついてきました。

・広報紙の発行をはじめ、ホームページの充実を図ることで、これまで以上に協議会の取組の啓発が進みました。

来年度に向けて

・来年度は、これまでの取組を継続しながら、重点目標として「学力向上」に地域と連携して取り組む予定です。本年度の職員会議に地域教育協議会会長も出席して協議が進められました。

・校区の幼小中が連携して取り組める事業を模索し実行することで、小中一貫教育の一役を担っていきます。

テーマ

地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる

目標

子どもたちをはぐくみ、地域や保護者で子どもたちを温かく包み込みながら見守る活動を通して地域全体が繋がっていくことを目標とする。

今年度の取組紹介

本年度も、学校生活における様々な場面で、はぐくみ協議会をはじめ地域ボランティアの皆様にご支援ご協力をいただきました。入学まもない新一年生の下校の付添に始まり、年間を通じて、毎日のように子どもたちの下校を見守っていただきました。校外に出かけるときには、大勢の皆さんが子どもたちの安全を守ってくださいます。特に、2年生の校区探険や1年生と幼稚園との合同学習では、小さな子どもたちの大きな力になりました。



また、昨年度から、総合「なら」で行っている地域の学習では、地元の皆様をお招きして地域のことをたくさん教わるなどして、子どもたちが暮らすこの地域のことをくわしく知るだけでなく、地域の皆さんのことを知るよい機会にもなりました。さらに今年度は、家庭科の時間にミシンの授業でたくさんのボランティアの方に補助していただくなどといった学習支援をお願いする機会も増えました。さらに、いろいろな場面での学習支援をいただいています。



昨年度に続き重点を置いたお話の会を中心とした読書活動の充実では、今年も、図書ボランティアの皆さんに、毎月来ていただき、図書室の環境を整えていただき、図書室が明るく楽しい雰囲気になり、図書室にくる子どもたちの姿が増えました。お話の会も子どもたちは大好きで、楽しみにしています。



今年度のまとめ

昨年度に引き続き、読書活動の充実には重きを置きましたが、購入した新しい本がたくさん本棚に並び、図書ボランティアの皆さんには、毎月、それを子どもたちに紹介するなど環境整備に取り組んでいただき、図書室を訪れる子どもたちの姿が増えました。お話の会も子どもたちには、楽しみな取組となり、読書への関心は高まっている。また、校内には、年中、きれいな花がたくさん咲くなど、校内環境の整備には、日々協力いただき、美しく保たれています。

来年度に向けて

次年度は、ボランティアの皆さんの得意分野を活かせるような学習支援を積極的に取り入れていきたいです。また、高まってきた子どもたちの読書への関心をいっそう高めるためにも、さらに書籍を増やして、お話の会と読書活動のつながりを深め、来年度も引き続き読書活動に力を入れていきたいと考えています。毎年、多くの費用と活動をいただいている学校環境の整備についても、子どもたちが、豊かな気持ちになれる美しい学校を維持できるように、一層充実させていきたいです。

テーマ

「いきいき わくわく 楽しい学校」

目標

- ・児童が「やってみよう」「やってみたいな」と、いきいきと意欲的に楽しく取り組めるように、学習環境の整備と学習活動の工夫・改善を行う。
- ・様々な人との関わりを大切にしたい取組を意図的・計画的に位置付け、あいさつや会話の大切さを知り、コミュニケーション能力を高めると共に優しさの醸成を図る。

今年度の取組紹介

◆本の読み聞かせ活動・学校図書環境整備事業

本校では、年間を通して火曜日の朝の会の時間に「おはなしのへや」として、地域のボランティアの方が学級を回って読み聞かせ活動をしてきています。併せて水曜日には、読書タイムを実施し、職朝をしないで教員も教室に行き、読書活動を推進しています。

また、児童が本を読みたいと思えるような図書室の環境づくりのため、地域やボランティアの方がブッカーかけや本の整理などを行ってくれました。



◆体験的な学習推進事業「昔遊び」

1年生の生活科の時間に、幼稚園児を招いて、昔遊びの体験学習を行いました。今年は、地域のボランティア23人が参加し、けんだま、めんこ、お手玉、こままわし、だるまおとし、かるたなどの遊び方を教えてくださいました。子どもたちは、一生懸命に遊び方を学び、夢中になって活動でき、その後の学びにつながりました。お世話になった方々には、お礼の葉書を送り、感謝の気持ちを伝えました。



今年度のまとめ

本の読み聞かせ活動・学校図書環境整備事業を推進した結果、児童たちの本に対する関心は高く、おはなしのへやや読書タイムの時間には、静かに集中して聞いたり読んだりすることができました。また、中休みや昼休みだけでなく、朝休みから図書室へきて本を読む本好きな児童もみられました。

昔遊びを含めた体験的な学習推進事業を進めたため、児童が本物に触れる機会や専門家、地域の人に触れる機会が増え、高い関心をもって学習に取り組むことができました。昔遊びのお礼にかいた葉書は、地域の人々に大変喜ばれ、子どもたちと地域の方のつながりを深められました。

来年度に向けて

今年度行っている事業を継続して進め、児童の本や学習に対する関心をより高めていきたいです。特に体験的な学習については、現在の取組を発展できるように各学年で創意工夫をするよう努めていきたいと考えています。また、環境ボランティアについては、さらに地域や保護者に呼びかけるとともに、児童も関わって進められるような方法を考えていきたいです。

テーマ

みんなあつまれ つるまい なかよしっ子

目標

地域の子は地域でつながる

今年度の取組紹介

「地域の子は地域でつながる」を目標に、幼稚園・保育園・小学校との連携を図り、未就園児を含めた地域ふれあい活動を進めています。栽培活動では、地域の方をゲストティーチャーとして招き、栽培から収穫までかかわっていただくことで、年間を通して園に足を運んで頂き子どもたちは親しみをもって接する姿が見られました。また、収穫した作物を使い収穫祭を地域の方々を招き行いました。お世話になった方々への感謝の気持ちを込め、5歳児が会場の準備や配膳を行い、多くの人と共に収穫の喜びを感じることができました。

地域を知り多くの人と触れ合うことで人とかかわる力を育成したいという思いから、地域の高齢者施設の方々に運動会に招待しました。初めて会う方々に最初は戸惑う子もいましたが、優しく話し掛けていただくなど触れ合う中で楽しい時間を一緒に過ごすことができました。後日、運動会のお礼にと園を高齢者の方が訪問していただき、わらべ歌遊びをしたり歌を聴いていただいたりすることができました。後日、高齢者施設で行われている催しに、家庭から参加するなど触れ合いの場が広がっています。



今年度のまとめ

自分たちが暮らしている地域を知り、地域の方々と触れ合う機会を設けることで、保護者や子どもたちは、地域の方々に支えられ地域の中で生活していることに気付くことができました。また、多くの方と触れ合うことで、人とかかわる力が育っていると感じます。高齢者施設の方々との触れ合いは、子どもたちにとっては優しく声を掛けたり、話をじっと聞いたりなど普段とは違う経験をすることができました。また、高齢者施設を身近に感じたことで、保護者と施設の催しに参加するなど地域を知り親しむ機会となりました。栽培活動では、地域の方への感謝の気持ちや収穫の喜びを感じることができました。

来年度に向けて

園児数の減少に伴い、同年齢の多くの友達とかがわることが難しく、今後も近隣の幼稚園や保育園、小・中学校、地域の方々との交流を計画的に行うことが大切です。また、幼稚園教育理解に向け広報活動に力を入れ、ホームページの更新や自治体への広報の依頼等積極的に行ってきたことで、理解を深めることが出来てきています。今後も地域の方々の協力をいただきながら、地域の幼稚園としての魅力を発信していきたいと思っております。

テーマ

みんなでつくろう楽しい幼稚園

目標

様々な感動体験を積み重ねることで、豊かな心や身体、主体的に活動に取り組もうとする意欲を育む。親子・地域がともに楽しめる幼稚園づくりをする。

今年度の取組紹介

○ 感動体験の積み重ね**音楽鑑賞会**

フルートとマリンバの演奏を保護者や未就園児親子と一緒に楽しみました。本物の音色に聞き入り、知っている曲は一緒に歌ったりジャンケン遊びもしました。フルートと縦笛の音を聞き分けたり、マリンバに触らせてもらったりしました。また、誕生日会には地域のハンドベルサークルの方が演奏してくださり、いろいろな種類の楽器に触れることができました。

**栽培活動**

地域の方に教えていただき、一年を通していろいろな野菜を育てました。毎日、水やりや草抜きをしながら、親子で生長に気付いたり、収穫の喜びを味わったりし、食育につなげることができました。(ピーマン、トマト、オクラ等の夏野菜やタマネギ、サツマイモ、大根等)

○ 地域の様々な方との交流**お話の会**

年間を通して地域の方に来ていただき、大型絵本や紙芝居、素話や手遊びをしていただきました。幼稚園にはない初めてのお話をきかせてもらったりして、毎回とても喜んで集中して聞いていました。

**ホタルフェスタ**

地域の方に教えてもらいながら、ひまわりの種まきをし、苗になるまで育て、ホタルフェスタに出品しました。また、今年は、初めての試みとして、ホタルフェスタに園児の制作した壁面飾りをはりだし、地域の方やその他大勢の方に作品を見ていただくことができました。

今年度のまとめ

- 感動体験の積み重ねにより言語・体力・食育・表現・生活習慣等総合的な成長がみられ、楽器や制作、体操、絵本、栽培活動等、園内外で経験したことを遊びの中に取り入れ、遊び方を考えたり友達と相談したりして主体的に関わり、意欲的に遊ぼうとする子が増えました。
- 保育参加や親子での活動を積み重ねたことで、子どもたちの成長をその度に感じ親子の共通の会話が増えたとの感想が寄せられ、保護者の教育や実体験することへの意識が高まっています。
- 地域の方をはじめ様々な人との交流により、その温かい雰囲気や眼差し、言葉掛けなどをおして周りの人への感謝の気持ち、人と関わる心地よさなどを感じ、思いやりの気持ちが育かれています。すすんで挨拶をしたり話しかけたりするコミュニケーション能力も育ってきています。

来年度に向けて

- 家庭教育の向上や、子育て支援の充実を図るため、地域コーディネーターの方との連携を深めていくとともに、今年度の取組を継続して実践していきたいです。